

下水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

実施方針	Ⅲ 下水道施設の適切な管理 Ⅲ 下水道施設の適切な管理 Ⅳ 下水道事業の経営の健全化		施策目標	1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます 2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます 1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます			施策	③ 人材の確保と民間活用手法の研究 ③ 人材の確保と民間活用手法の研究(再掲) ⑤ 人材の確保と民間活用手法の研究(再掲)			下水道維持課 ポンプ場管理センター 上下水道総務課
総事業費	20,619千円	事前・中間評価									
計画額	令和元年度(予算額) 2,402千円	令和2年度(予算額) 2,302千円	令和3年度(予算額) 1,794千円	令和4年度(予算額) 1,963千円	令和5年度(予算額) 1,778千円	令和6年度(予算額) 2,078千円	令和7年度(予算額) 2,002千円	令和8年度 2,296千円	令和9年度 2,002千円	令和10年度 2,002千円	
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・職員に対する研修の実施や資格取得の促進をします。 ・下水道施設の維持管理に関する民間活用についての情報収集を行います。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。	・管路施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・ポンプ場施設の維持管理における効率的な民間活用の検討を行います。 ・職員に対する研修の実施や資格取得を促進します。	
総事業費	7,483千円	終了時評価									
決算額	1,457千円	908千円	756千円	1,494千円	1,518千円	1,350千円					
達成状況	①職員に対し、研修の受講や資格取得を促した。有料の研修について、全20講座22名の職員が受講した。 ②下水道施設の維持管理等の包括的民間委託について、具体的な事例の情報収集を行った。	・管路施設の維持管理に関し、先行事例等を参照し民間活用についての情報収集を行いました。 ・ポンプ場施設の維持管理における民間活用手法について研究を行いました。 ・有料研修の実績については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となる研修があったものの、延べ23人が20講座を受講し、下水道事業体の職員としての見識を広げました。	・管路施設の維持管理に関し、先行事例等を参照し民間活用についての情報収集を行いました。 ・有料研修の実績については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となる研修があったものの、延べ26人が20講座を受講し、下水道事業体の職員としての見識を広げました。	・管路施設の維持管理に関し、先行事例等を参照し民間活用についての情報収集を行いました。 ・ポンプ場施設の維持管理における民間活用手用について研究を行いました。 ・有料研修の実績については、延べ19人が17講座を受講し、下水道事業体の職員としての見識を広げました。	・管路施設の維持管理に関し、先行事例等を参照し民間活用についての情報収集を行いました。 ・ポンプ場施設の維持管理における民間活用手用について研究を行いました。 ・有料研修の実績については、延べ23人が12講座を受講し、下水道事業体の職員としての見識を広げました。	・管路施設の維持管理に関し、先行事例等を参照し民間活用についての情報収集を行いました。 ・ポンプ場施設の維持管理における民間活用手用について研究を行いました。 ・有料研修の実績については、延べ25人が14講座を受講し、下水道事業体の職員としての見識を広げました。 ・職員(9名)が前年度の実践職員などからアドバイスを受けながらBPRに取り組み、その内容を局内で共有しました。					